

現在の幕張新都心の良い点、課題感

【良い点】

- 都市機能がコンパクトかつバランスよく配置（ゾーニング）されており、土地がフラットである。
- 歩道や車道が広く、実証実験等に適している。
- ビーチの存在、アクセスがよく、海外需要にも対応できる。
- 時刻表を見なくても生活ができる。

【課題感】

- 各要素の集積やポイントは存在しているものの、横連携やつながりが弱い。
- 回遊性が少なく、外へのコンテンツ発信が弱い。
- 週末には渋滞が発生することがあり、災害時の混乱も懸念される。
- 歩くと遠いが、バスやタクシーを使うほどではないという距離感がある。

モビリティによってもたらされる理想的な幕張新都心の姿（具体的なイメージ）

- 遠方から人を呼び込み、回遊・長期滞在により地域貢献いただく。
- 海を活用したリゾート感。
- 人の暮らしや移動するということにフォーカスを置き、ソフトモビリティを中心に考える。
- 他の施設への移動を容易にできる。
- 移動自体を楽しみ、利便性だけではなく、人間の心に訴えかけるようなことを通じて、幕張新都心エリアでの滞在時間を長くするようなモビリティ。
- 高齢者が車を手放したとしても、負担なく生活ができるまちづくりをし、高齢者の活気により日中の賑わいを創出する。
- 各サービスのポータルサイトのようなアプリケーションを用意し、利便性向上を図る。
- 「この乗り物に乗りたい」という目的があるまちづくり。